

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。			
業種	飲食店	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。			

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	日本ホテル株式会社	売上高	0.00923	kg/千円	100.0	食材の無駄を省き節約の意識向上を図る。日々の指導と循環再生率の数値目標の掲出。
2	株式会社ニューオータニ	売上高	0.02411	kg/千円	100.0	社内分別講習会（テナントを含む）を年2回実施。
3	株式会社横浜グランドインターコンチネンタルホテル	売上高	0.09735	kg/千円	100.0	生ゴミの水切りや売れ残りを従業員に販売し、ゴミの発生量と総重量の減少化を実施。
4	（株）ホテルオークラ東京ベイ	売上高	0.06823	kg/千円	100.0	定期的に報告を行い社員全体の意識の向上に努めた。
5	メイフード株式会社	売上高	0.11489	kg/千円	100.0	
6	三重農協食品株式会社	売上高	0.04415	kg/千円	100.0	
7	株式会社宮春	売上高	0.04393	kg/千円	100.0	飲食店における残渣の分別を更に厳しく実施。
8	株式会社ニューオータニ九州	売上高	0.06776	kg/千円	100.0	
9	霧島酒造株式会社	売上高	0.09221	kg/千円	100.0	自社処理により焼酎粕、米・芋くずをメタン発酵処理し、乾燥設備においた化石燃料を利用せず、発生したメタンガスを利用し、焼酎粕脱水ケーキを乾燥させ、家畜飼料の原料を生産している。
10	東北大学生生活協同組合	売上高	0.09706	kg/千円	100.0	飲食店（食堂）、各種食料品小売業（購買）とも、調理品と取り扱い食品の「単品管理」活動により、食品が廃棄になることを抑制。具体的には、学事・天候（気温）・昨年実績（来店数、販売数）などを参考にして出食、仕入れ・販売を行っている。
11	株式会社嘉文	売上高	0.05922	kg/千円	99.8	本年度より一部店舗を除き割り箸からえこ箸に変更。
12	株式会社マツモト	売上高	0.02618	kg/千円	98.2	
13	株式会社ロイヤルパークホテル	来館数	0.56421	kg/人	90.5	各廃棄物の分類の徹底及び、ダストボックスの配布。
14	株式会社ジー・ワイ・フードサービス	食数	0.13649	kg/食	88.5	全営業所に弊社の環境研修のための冊子を配布し各マネージャーによる研修を行っている。再生利用の委託先の確保と見学会を実施している。
15	株式会社アレフ	売上高	0.05512	kg/千円	86.6	
16	小田急商事株式会社	売上高	0.02117	kg/千円	81.0	店舗巡回と指導、及び新たな再資源再生業者との取組。
17	株式会社八仙閣	売上高	0.12334	kg/千円	78.6	
18	株式会社丸江	売上高	0.02586	kg/千円	73.8	宮城県栗原市栗駒の岩ヶ崎店に生ゴミ処理機を導入した。
19	ユーレスト・ジャパン株式会社	来客数	0.11057	kg/人	71.7	
20	西洋フード・コンバースグループ株式会社	来客数	0.11102	kg/人	71.6	
21	栄食メディックス株式会社	食事の提供人数	0.11114	kg/人	71.5	
22	株式会社イマナガ	売上高	0.19313	kg/千円	69.2	
23	株式会社名鉄百貨店	売上高	0.06851	kg/千円	68.9	
24	三菱電機ライフサービス株式会社	売上高	0.16474	kg/千円	68.7	再生利用未実施の事業所に対し、再生利用等を実施している近隣事業所を紹介、及び登録再生利用事業者を紹介。
25	株式会社魚七	売上高	0.03034	kg/千円	66.7	

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。				
業種	飲食店	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。				
No.	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率（％）	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
26	株式会社ジェイアンドジェイ	来店客数	0.14331	kg/人	63.2	
27	株式会社吉野家	売上高	0.06992	kg/千円	62.4	
28	ホクレン農業協同組合連合会	売上高	0.04731	kg/千円	61.0	
29	株式会社ケーアンドアイ	売上高	0.05117	kg/千円	60.9	店舗従業員へ廃棄物発生抑制と分別に対する意識向上に努めている。
30	株式会社東京ヒューマニアエンタプライズ	客数	0.69175	kg/人	60.6	
31	株式会社若鯨家	売上高	0.21880	kg/千円	60.5	
32	株式会社さわやか	売上高	0.06625	kg/千円	60.4	
33	株式会社えぼし	売上高	0.10196	kg/千円	60.3	
34	株式会社ポールスター	売上高	0.07518	kg/千円	60.3	
35	カルビーポテト株式会社	売上高	0.08329	kg/千円	60.0	製品の生産計画より発生ロス量を予想し、適正な配送を実施。削減型ごみ処理機の活用。
36	株式会社アール・ティー・コーポレーション	売上高	0.06736	kg/千円	59.1	
37	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	売上高	0.09594	kg/千円	58.1	再生利用処理を行っている委託先に対しては年1回以上の視察を継続的に実施して、監視体制を強化するとともに、競合他社との連動によるリサイクルループ作りにも積極的に取組み、2010年度よりその仕組みをスタートすることができた。
38	株式会社マルナカ	売上高	0.16656	kg/千円	57.8	
39	株式会社平田牧場	売上高	0.09333	kg/千円	57.6	
40	株式会社萬家	売上高	0.08160	kg/千円	56.9	店舗毎に生ごみ処理機の設置を進めて、当年度3台設置し移動。
41	国際ホテル株式会社	売上高	0.07249	kg/千円	55.8	新規入社者に採用時、食品廃棄物分別の手順教育を実施。
42	株式会社みづほ野	売上高	0.06447	kg/千円	54.6	ゴミの分別、生ごみの乾燥を進めた。
43	株式会社プロントコーポレーション	売上高	0.04786	kg/千円	54.2	21年度よりチェーン本部指定の委託業者を選定して、加盟店に推進している。更に今後関東圏以外の全国網の管理を推進中。
44	株式会社人形町今半	売上高	0.04645	kg/千円	52.8	社内リサイクル委員会の活動。
45	恵産業株式会社	売上高	0.15143	kg/千円	52.1	自社社員に年1回、食品廃棄物分別研修を実施。
46	株式会社札幌かに本家	売上高	0.06874	kg/千円	52.1	
47	相鉄ホテル株式会社	売上高	0.07665	kg/千円	51.6	年1回、廃棄物の資源化状況を部門長会議へ報告実施。
48	株式会社王将フードサービス	売上高	0.09629	kg/千円	50.9	平成22年度第8回京都環境賞(大賞)受賞。普及の為の講演：川崎市環境局生活環境部減量推進課(H22/6/2)、岡山市環境局環境企画総務課(H23/2/2)など。
49	株式会社中村屋	売上高	0.03385	kg/千円	49.8	
50	ファーストキッチン株式会社	売上高	0.06443	kg/千円	49.2	
51	株式会社ダスキン	売上高	0.04807	kg/千円	48.8	
52	株式会社ユニフード	売上高	0.08948	kg/千円	47.9	新規開店時に、従業員を対象に食品廃棄物の分別教育を実施。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績
業種	飲食店

注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。

注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
53	株式会社ブロンコビリー	売上高	0.06421	kg/千円	47.6	店舗別の食品リサイクル分別状況のランク付けや定期視察による分別精度の向上。新規再生利用事業所の情報収集や視察・見学。
54	株式会社モスフードサービス	売上高	0.06774	kg/千円	47.5	
55	株式会社アトム	売上高	0.05489	kg/千円	47.2	
56	株式会社木曽路	客数	0.22949	kg/人	47.1	食品残渣収集運搬搬入業者から資源化実施店の分別状況・収集量を月単位情報提供を受け低レベル店舗への臨店指導を常に行っている。各地区、新規再生利用委託候補先(再生登録事業所)の情報収集・視察を行い食品リサイクル実施店舗の増加に努めている。委託先21年度11社、22年度15社（4社の増加）。実施店舗21年度85店舗、22年度96店舗（11店舗の増加）。
57	株式会社だいもん	売上高	0.18377	kg/千円	46.8	
58	モロゾフ株式会社	売上高	0.03667	kg/千円	46.6	
59	ジェイアール東海フードサービス株式会社	売上高	0.08022	kg/千円	45.0	各店長に迅速に指示が行えるように社内体制を整え、定期的な対策会議を開催し、対策の指示、実行を行った。対策本部より各店長へ対し、対策会議での決定事項を指示、実施させた。ガラの再利用、廃油のリサイクル試行を実施。
60	シダックス・コミュニティ株式会社	売上高	0.06120	kg/千円	44.9	
61	株式会社ジー・オー・フードサービス	食数	0.07292	kg/食	44.4	
62	株式会社フライングガーデン	売上高	0.07581	kg/千円	44.0	例年同様、従業員への分別の強化及びリサイクル店舗の増量。また、食品リサイクルループを構築するため、テスト的に循環野菜を取り入れることを始めている。
63	康正産業株式会社	売上高	0.06189	kg/千円	44.0	年1回の飼料製造見学研修を実施。
64	マルシェ株式会社	客数	0.13272	kg/人	44.0	
65	株式会社日本レストランエンタプライズ	売上高	0.05100	kg/千円	43.4	
66	サムカワフードプランニング株式会社	売上高	0.05537	kg/千円	43.1	
67	株式会社レパスト	売上高	0.04778	kg/千円	43.0	
68	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	売上高	0.07573	kg/千円	42.6	本部スタッフの再生処理施設への見学実施。店舗責任者会議での研修（生ごみ分別の徹底・廃棄物の削減行為）
69	株式会社イタリアントマト	売上高	0.05595	kg/千円	42.0	ショッピングセンター内の店舗においては、ショッピングセンターのリサイクル基準に応じた分別を実施している。
70	株式会社ニッコクアイビー	売上高	0.26454	kg/千円	41.7	
71	株式会社横浜ベイホテル東急	売上高	0.04374	kg/千円	41.6	社内において、食品廃棄物の分別の徹底と異物混入防止を連絡書等で徹底。
72	広越株式会社	売上高	0.06846	kg/千円	41.3	
73	株式会社馬淵商事	食数	0.11076	kg/食	40.7	利用者の嗜好に合わせた献立の作成。カット野菜の利用を推進。盛付けの工夫。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。
業種	飲食店	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率（％）	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
74	株式会社ジー・エフ・フードサービス	食数	0.08909	kg/食	40.6	
75	株式会社Misumi	売上高	0.10840	kg/千円	40.5	

III 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。
業種	持ち帰り・配達飲食サービス業	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社ジェイアンドジェイ	来店客数	0.15829	kg/人	83.3	
2	株式会社登利平	売上高	0.06632	kg/千円	62.8	
3	株式会社人形町今半	売上高	0.08705	kg/千円	61.3	社内リサイクル委員会の活動。

III 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。
業種	結婚式場業	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。

№	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率(%)	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社横浜グランドインターコンチネンタルホテル	売上高	0.06224	kg/千円	100.0	生ゴミの水切りや売れ残りを従業員に販売し、ゴミの発生量と総重量の減少化を実施。
2	(株) ホテルオークラ東京ベイ	売上高	0.05573	kg/千円	100.0	定期的に報告を行い社員全体の意識の向上に努めた。
3	株式会社ロイヤルパークホテル	来館数	0.56468	kg/人	90.6	各廃棄物の分類の徹底及び、ダストボックスの配布。
4	株式会社セルモ	売上高	0.06838	kg/千円	77.6	
5	藤田観光株式会社	料理収入	0.04086	kg/千円	71.4	
6	株式会社東京ヒューマニアエンタプライズ	客数	0.69196	kg/人	60.7	
7	メルパルク株式会社	利用人数	0.22246	kg/人	58.2	
8	国際ホテル株式会社	売上高	0.07214	kg/千円	55.2	新規入社者に採用時、食品廃棄物分別の手順教育を実施。
9	相鉄ホテル株式会社	売上高	0.07673	kg/千円	51.5	年1回、廃棄物の資源化状況を部門長会議へ報告実施。
10	株式会社愛知冠婚葬祭互助会	売上高	0.00566	kg/千円	48.1	部署担当者を集めて、食品廃棄物分別勉強会を実施。
11	株式会社横浜ベイホテル東急	売上高	0.02796	kg/千円	40.3	社内において、食品廃棄物の分別の徹底と異物混入防止を連絡書等で徹底。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。			
業種	旅館業	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。			

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率（％）	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
1	株式会社横浜ランドインターコンチネンタルホテル	売上高	0.00068	kg/千円	100.0	生ゴミの水切りや売れ残りを従業員に販売し、ゴミの発生量と総重量の減少化を実施。
2	株式会社名古屋東急ホテル	売上高	0.03665	kg/千円	100.0	
3	(株)ホテル日航福岡	売上高	0.02953	kg/千円	100.0	
4	仙台ターミナルビル株式会社	売上高	0.04726	kg/千円	100.0	ごみ計量器の増設（仙台3台・福島1台・郡山1台・山形1台）。
5	株式会社京王プラザホテル札幌	売上高	0.02208	kg/千円	100.0	
6	ハウステンボス株式会社	売上高	0.01564	kg/千円	100.0	自社で発生する生ごみをコンポストシステムで堆肥化し、場内の草花への堆肥として有効活用（リサイクル）している。
7	株式会社ナゴヤキャッスル	食堂＋婚礼宴会＋一般宴会	0.03519	kg/千円	100.0	廃棄物全量集計表を昨年11月頃より作成・立ち上げ。生ゴミ等の日毎の排出量の把握及び前年対比、前年同月対比を自動で行えるよう進めている。
8	株式会社熊本ホテルキャッスル	料理原価	0.25493	kg/千円	100.0	
9	株式会社東京ベイホテルズ	売上高	0.07992	kg/千円	99.4	
10	ケーヨーリゾート開発合同会社	売上高	0.11350	kg/千円	97.5	生ごみの分別徹底をミーティング及び各現場で指導し、社内メールを活用し、再生利用の実施率を告知して、従業員のリサイクル意識を高めている。
11	株式会社ロイヤルパークホテル	来館数	0.56674	kg/人	90.5	各廃棄物の分類の徹底及び、ダストボックスの配布。
12	株式会社ホテルグランヴィア大阪	売上高	0.09962	kg/千円	77.8	四半期に1回各部委員による委員会を開催し、年度当初に設定したリサイクル目標達成へ向けた取り組みを全社で共有化して、推進を図っている。
13	株式会社セルリアンタワー東急ホテル	料飲売上高	0.05548	kg/千円	74.8	
14	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発	売上高	0.03619	kg/千円	70.8	
15	株式会社西鉄シティホテル	売上高	0.07428	kg/千円	69.9	弊社の活動内容への質問への回答、施設見学の受入等の情報開示や事例発表依頼等の場における「3R」の普及啓発に努めている。特に「リサイクル」の前にまず「リユース」が重要である点を話す事としている。
16	ロイヤルパインズ株式会社	売上高	0.03276	kg/千円	69.2	
17	株式会社ニューオータニ九州	売上高	0.04437	kg/千円	63.2	
18	くまもと新世紀株式会社	売上高	0.04092	kg/千円	61.7	
19	株式会社東京ヒューマニアエンタプライズ	客数	0.69813	kg/人	60.2	
20	株式会社ロイヤルホテル	売上高	0.02648	kg/千円	59.4	関係する部署の従業員に対して、食品廃棄物の減量、並びに分別に関する指導や教育を実施。再生委託先の見学会を実施。
21	ブリヂストン・リーガ株式会社	売上高	0.03637	kg/千円	57.6	宴会の残飯（28t／年）を再生リサイクル処理で処分している。
22	株式会社グリーンズ	売上高	0.05327	kg/千円	57.2	3事業所において、ISO14001を取得し食品廃棄物の分別・計量を継続。減量について目標を定め取組をしている。また、他事業所において水平展開を図っている。今年度は、期中において1事業所だが生ゴミ処理機を試験導入している。

Ⅲ 食品リサイクル法に基づく定期報告の内容の一部を公表することに同意いただいた事業者の一覧

年度	平成22年度実績	注1： 事業者名の順番は、再生利用等実施率が高い事業者順（同じ実施率の場合は、順不同）。			
業種	旅館業	注2： 再生利用等実施率が、平成24年度までの業種別目標を達成した事業者について掲載。ただし、再生利用等実施率が最も高い事業者の方で、公表に同意されなかった方は掲載していません。			

No.	事業者名	発生原単位			再生利用等実施率（％）	その他の食品循環資源の再生利用等の促進のために実施した取組
		密接な関係をもつ値の名称	発生原単位	単位		
23	国際ホテル株式会社	売上高	0.07202	kg/千円	55.5	新規入社者に採用時、食品廃棄物分別の手順教育を実施。
24	(株)京王プラザホテル	売上高	0.03753	kg/千円	53.1	
25	名古屋ヒルトン株式会社	ゲスト数	0.34145	kg/人	53.0	従業員に対して、廃棄物のコストを明確に説明して関心を持たせる。 （新規従業員に対してセミナーを実施）
26	相鉄ホテル株式会社	売上高	0.07668	kg/千円	51.6	年1回、廃棄物の資源化状況を部門長会議へ報告実施。
27	藤田観光株式会社	料理収入	0.05787	kg/千円	51.6	
28	株式会社関東東急イン	売上高	0.08535	kg/千円	51.4	
29	株式会社ホークスタウン	売上高	0.02322	kg/千円	44.9	
30	森観光トラスト株式会社	喫食人数	0.22862	kg/人	43.4	グループ事業所14施設での食品廃棄量の削減。調理屑、残飯減少への指導。
31	株式会社ホテル新潟	売上高	0.05025	kg/千円	43.0	ブリーフィングにてゴミリサイクル分別等の内容を徹底するよう指導した。
32	松山総合開発株式会社	売上高	0.01730	kg/千円	42.6	再生利用等の内容についての情報収集。
33	株式会社横浜ベイホテル東急	売上高	0.01370	kg/千円	40.3	社内において、食品廃棄物の分別の徹底と異物混入防止を連絡書等で徹底。